



ピンチを回避する方法は  
解説ページで

・・・今日も快晴!・・・  
トラックドライバー 日誌

「安全・安心」に欠かせない取り組みを、サンライズ運送に勤めるスタッフたちそれぞれのエピソードを通じて紹介。

## 第44話 危険の予測と回避は 想定が大事

-KとYで“ご安全に”-



## 配送件数が多い日=バック事故を予測

配送数が多いと面倒な気分にもなりますが、「バック事故」の可能性も高まります。「配送件数増=バック走行の回数増=バック事故の確率アップ」であり、バック事故は「やるべきことをやらなかった」時に発生します。

「やり方と回数は自分で決めた法定外の安全確認」にこだわり、バック事故を回避!



トラックでも人生でも、後ろ向きに進むのは不安で苦手なものです。

## 走行距離が長い日=追突事故を予測

長距離運転は心身ともに疲れ、追突事故の可能性が高まります。また追突事故は、居眠り運転やスマートフォンの使用を含む「ながら運転」など、運転中に「やってはならないことをやっていた」時に発生します。

「ゆとり・ゆずる・ゆっくりの3Y運転」にこだわり、追突事故を回避!



トラックでも人生でも、急ぎ過ぎずに一休みしながら進みましょう。

## 交通量が多い一般道を走行する日=交差点事故を予測

交通量が多いと渋滞が発生し、交差点事故の可能性が高まります。交差点事故は相手が想定外の動きをする場合の外的要因も多く、また、体が「むき出し」である歩行者や自転車運転者だと、相手がケガをする危険が高まります。

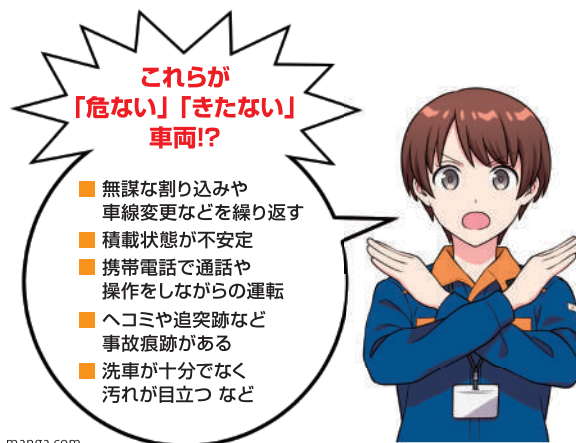
「走り方より停まり方」にこだわり、交差点事故を回避!



トラックでも人生でも、曲がり角や分かれ道を通過する際は慎重に。

## 「危ないもの」「きたないもの」には近づかない

「危ない」運転をする車両や、車内外が「きたない」車両は事故を引き起こす危険が! 「危ない」「きたない」と感じたら、近づかないことが賢明です。



マンガ制作: ad-manga.com

# 漫画で学ぶ法定12項目シリーズ 「危険の予測及び回避並びに緊急時における対処方法」

ドライバー指導の際に義務づけられている法定12項目について、漫画と解説でポイントを紹介していきます。今回は「危険の予測及び回避並びに緊急時における対処方法」です。

## K(危険)のY(予測)が安全への第二步

「安全」の「あ」には、まずは「危ないもの」を危ないと察知し、近づかないという鉄則があります。これまで交通事故を起こしたことがない人でも、運転中に「危ない!」と思った瞬間はあるはず。安全な人ほど「危ない!」の感覚が高く、その状況を早く多く発見し適切に回避できるため、無事故の継続につながります。

「危険の予測及び回避」とは、あくセルを踏む前に「頭で危険を予測」して安全を確認、そして危険を発見したら「ハンドルよりブレーキで回避」することが基本です。多くの車や人が行き交う道の上では、「まさかの想定外が起きる」ことが当たり前と考えて、出発前に想定内に収める準備をしましょう。事前にK(危険)をY(予測)しておくことが、安全に通じる道です。

## 出発前に事故を予測したセルフ点呼を実施

出発前に「自分が起こすかもしれない交通事故」を予測し、対策を考えることは10秒程度でできるセルフ点呼です。次のページで、その日の運行内容に合わせて実施してもらいたい、セルフ点呼をイラストで解説します。



高柳 勝二 (たかなぎ かつじ)

株式会社 プロデュープ代表取締役。1990年、運送会社にドライバーとして入社し、管理職を経て18年間勤務。2008年に株式会社 プロデュープ設立。中小運送会社からの依頼が多い「提案型」研修は、受講されたドライバーや管理者からの「おもしろい・眠くならない・分かりやすい」との評判が口コミで広がり、各都道府県のトラック協会や協同組合等の研修会でも講演多数。2016年度から2022年度まで国土交通省「自動車運送事業に係る交通事故対策検討会」委員。